

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立羽生高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	単位制、昼・夜間部開設の定時制の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、不登校等の課題を抱えた生徒を受け入れる学校や、地域の生涯学習機関としての学校という特色を踏まえた明瞭な学校像が設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ今年度見直され、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定された。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示された目標となっており、日々の教育活動の指針となるものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・年次・教科が連携し、学校自己評価システムが運営されている。各分掌・年次・教科が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられ、適切な方策が策定されている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシートに基づいた方策を分掌・年次・教科で策定し、それを一覧表にして共通理解を図ってそれぞれの分掌等が取り組むことを明確にしておき、評価項目の達成に向けて組織的に取り組んでいる。方策の評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすい指標となるよう検討し、方策を計画的に実施することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状・課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長が的確にリーダーシップを発揮し、分掌・年次・教科などが全体の目標を理解して組織的・計画的に取り組んでいる。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	評価運営委員会と分掌・年次等が連携しながら評価項目の達成状況を検証し、次年度への課題と改善策を示している。年度評価・学校関係者評価などを基に課題を明確にして、次年度の目標・方策に適切に引き継がれてスパイラルアップが図られており、課題の解決に向けて組織的に取り組んでいる。	
特記事項			